

御坊のここへ行こう! が見つかる場所

# 御坊寺内町会館へ ようこそ!

レトロな町並みをぶらり  
ゆったりとした時間が流れます

寺内町とは、浄土真宗などの仏教寺院、道場(御坊)を中心として形成された自治集落のことで、御坊寺内町は本願寺日高別院を中心に、江戸時代には各地の特産物を扱う問屋などが軒を並べ『御坊東町ほうきはいらぬ、お御堂参りの裾で掃く』<sup>みどう</sup>と言われる程、人々の往来でにぎわいました。今でもその面影を残した貴重な町屋と明治から大正・昭和と日本が近代化していく時代の特性が残っています。御坊寺内町会館で御坊の歴史と文化を知っていただくことで、御坊での散策を一層お楽しみいただけます。

## 御坊寺内町会館の展示ご案内

### 御坊が誇る伝統文化 御坊の歴史

「人を見たけりや御坊祭」と言われる紀中地方最大の祭で、毎年10月4日から5日にかけて盛大に行われます。ここでは、御坊祭に関連する資料や祭礼用具の他、御坊人形や歴史年表など御坊ならではの歴史・文化にまつわる資料を展示しています。

### 古代伝説、ロマンの里 宮子姫・有間皇子

御坊市の九海士(くあま)の里で漁師の子として生誕し、1羽の燕が縁となり後に聖武天皇の母となった『日本のシンデレラ』宮子姫や、孝徳天皇の皇子として生まれながら政争に巻き込まれて処刑された『悲劇の皇子』有間皇子の貴重な資料を展示しています。



### 日本一短いローカル私鉄 紀州鉄道

営業距離2.7km、片道8分間の日本一短いローカル私鉄で昭和6年の開通以来、御坊の発展を支え、いまでも市民の足として愛され続けています。関連資料の他、グッズやフォトコンテストの入選作品、御坊の街並みと紀州鉄道を再現したNゲージを展示しています。